

平成 24 年度

# 施設評価調書

施設の名称……稲生沢公民館

所管担当課……教育委員会生涯学習課

平成 24 年 7 月

平成 24 年度
----------

施設名（愛称名）	下田市立稲生沢公民館
----------	------------

番号	27
----	----

## 設置目的の達成度

### 1 計画(Plan)と実績(Do)

設置目的	社会教育法第 20 条の目的を達成するため 第 20 条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。					
運営事業名	H22 年値	H23 年目標値	H23 年実績値	対前年比	目標達成率	評価
① 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	734 人	600 人	711 人	96.87%	118.5%	A
② 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	6,302 人	5,900 人	7,075 人	112.27%	119.91%	A
設置目的に対する総合評価						
目的達成度の 評価基準	① 参加者数*実施数（複数講座がある場合は全講座の合計） ② 利用者合計人数 評価：目標達成率 A100%以上、B100%未満 80%以上、C80%未満 60%以上、D60%未満 40%以上、E40%未満					

### 2 現状分析(Check)

運営事業の 意義と現状	市の厳しい財政状況の中、限られた予算で館長に公民館講座を企画してもらい、前年度に比べると多少参加者数は減少しており、全体の公民館利用者数に比較すると、数にかなり大きな幅がある。全体の公民館利用者数については、昨年度に引き続き増加しており 800 人程度増加した。
上記の原因	公民館講座については、概ね例年並みの参加者が得られており、全体の公民館利用者数については、東日本大震災の影響により、震災直後の団体活動の自粛や公民館全館の利用制限、また 7 - 9 月までの 3 カ月間の全館の利用制限があったにも関わらず、利用者数が伸びていることから、各団体の活動への影響は、最小限にとどめられたものとする。

### 3 次年度以降への改善点(Action)

具体的な 改善方策	公民館講座企画の充実化、広報強化。公民館講座については、講座内容が固定化しつつあるため、新規講座の開設を推進したい。 将来的には統廃合計画により、地元区へ譲渡（または廃止となる）を進める施設であり、今後の施設の在り方を、行政・地元区等関係者を交え、また、社会教育委員、公民館運営審議会等にも諮問する等して、地元の実情にあった施設として方向性を見出していかねばならない。		
H24 年度運営 事業と目標値	運営事業名	H24 年度目標値	備考
	③ 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	700 人	年計画
	④ 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	7,100 人	前年度維持 7,075 人≒7,100 人

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価

運営事業名	H 年度	H 年度	H 年度	H 年度
総合評価				
	※平成 22 年度より（平成 23 年 7 月調書）開始のため、データ無し。			

平成 24 年度

施設名 (愛称名) 下田市立稲生沢公民館

番号 27

## 効 率 性

### 1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		H22 年度値	H23 年目標値	H23 年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用者数等	6,302 人	5,900 人	7,075 人	112.27%	119.91%
	B 年間経費 (除く収入) 経費+市職人件費	1,492,257 円	—	1,497,256 円	100.33%	—
	B/A	237 円/人	230 円/人	212 円/人	89.45%	92.17%
③	光熱水費	798,247 円	1,268,000 円	717,945 円	89.94%	56.62%
④	消耗品費	58,315 円	58,000 円	16,344 円	28.03%	28.18%
効率性指標の考え方等		A 利用者数：公民館利用者人数 B 年間経費：市の経費総額と事務に係る人件費（職員人件費÷職員数）*1/20 人工 目標値：直近の最大数値（100 人未満切捨て、1,000 円未満切捨て）				

### 2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	利用者が 800 人程度増加している中で、年間経費が前年並みにとどまり、節電への呼び掛けの成果がみられる。消耗品費の減少については、消火器の詰め替えが無い分が、削減の主な要因となっている。
-------------	--

### 3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	引き続き、利用者の増加に伴う光熱水費、消耗品の増加を最小限最低限に止めるよう、節電・節約に取り組み、利用者への声掛け等の協力依頼や掲示物等により節電・節約の周知徹底を図る。		
H23 年度効率性の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B/A	210 円/人	前年度実績維持 212 円/人≒210 円/人
	②光熱水費	682,000 円	前年度実績の 5%削減 682,048 円≒682,000 円
	③消耗品費	16,000 円	前年度実績維持 16,344 円≒16,000 円

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H20 年度決算	H21 年度決算	H22 年度決算
① 利用単位当たり 経費	目標値 (人)	5,900 人	5,900 人	5,900 人
	A 実績値	5,130 人	5,050 人	6,302 人
	B 実績値	6,671,387 円	1,291,261 円	1,492,257 円
	B/A	1300.47 円/人	1,053.28 円/人	237 円/人
	対前年比 (B/A)	109.23%	19.61%	22.50%
	目標達成率 (人)	86.95%	85.59%	106.81%
② 光熱水費	目標値	725,000 円	725,000 円	763,000 円
	実績値	803,547 円	782,488 円	798,247 円
	対前年比	102.24%	80.22%	102.01%
	目標達成率	110.83%	107.92%	104.62%
④ 消耗品費	目標値	40,000 円	40,000 円	40,000 円
	実績値	5,176 円	11,724 円	58,315 円
	対前年比	137.66%	60.85%	497.40%
	目標達成率	12.94%	29.31%	145.79%

平成 24 年度
----------

施設名（愛称名）	下田市立稻生沢公民館
----------	------------

番号	27
----	----

#### 4 その他の指標

	区 分	説 明	単位	H21 年度	H22 年度	H23 年度
受益者負担 の適正性	①有料部分の 年間経費	使用料等を徴収する部分 の年間経費	円	1,975,261	2,140,757	1,971,136
	②受益者負担 額	施設の本来の目的による 使用料等の年間総額	円	684,000	648,500	473,880
	③受益者負担 比率	②÷①	%	34.62	30.29	24.04
	④補正受益者 負担額	減免者より正規の料金を 徴収したと仮定した場合 の受益者負担額	円	399,000	797,000	652,000
	⑤補正受益者 負担比率	④÷①	%	20.20	37.23	33.08

運営に掛か る税負担 (市民負担)	年度		H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度(予算)
	人口（4月1日：人）		25,549	25,224	24,515	—
	人口 1 人あ たり(円/人)	運営経費（収入除く）	128	185	61	—
年間総経費		269	328	253	—	

平成 24 年度

施設名（愛称名） 下田市立稲生沢公民館

番号 27

### 利用者満足度調査

※アンケート実施無し。但し、予約受付時、使用后、館長会議等にて、意見聴取している。

### 施設修繕計画及び備品購入計画

破損年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考（修繕済年度等）
23	管理人室給湯器修繕	94,500	23	
23	消防設備修繕（非常用灯）	37,800	23	需要費から流用対応
23	浄化槽空気配管破損修理	34,650	23	需要費から流用対応
※今後想定される維持管理事項 ・非常階段錆び止め塗裝修繕 ・網戸修繕 ・その他特段緊急を要する修繕箇所は無いが、統廃合により譲渡した場合の維持管理費が区だけで負担できるのかが課題となる。				

平成 24 年度

施設名（愛称名） 下田市立稲生沢公民館

番号 27

### 管理運営上のその他評価項目

当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性	社会教育法に基づく公民館としては、行政関与は妥当である。但し、市の総合計画における公民館統廃合事業として、市内 9 公民館の中央公民館 1 館への統廃合を進めており、耐震性を備えた稲生沢公民館は、地元区への譲渡を基本方針としており、地元区の実情にみあった生涯学習施設の拠点として、譲渡のための調整を進めたい。
民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性	
施設の管理運営と経費の妥当性	比較敵新しく状態の良好な公民館であるため、市の厳しい財政状況も考慮し、可能な限り、必要最低限、使用に耐え得るまでに修繕等を施し運営している状況にある。また、備品の劣化等については、緊急を要するものから順に、必要最低限の対応で運営している状況にある。
施設の性質や実費経費からみた受益者負担の妥当性	施設の設置目的からは、妥当な範疇の負担に思われる。
その他の管理運営上の課題	統廃合による将来的に地区の生涯学習施設の拠点として、地元区にみあった今後の在り方、果たすべき役割について考察することが課題である。また、地元区が意見集約を進めるにあたり、行政が可能な限り情報提供等協力していくことが必要である。
【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等	県内では、公民館廃止、代替施設として生涯学習センターの設置・整備等が傾向にある。社会教育法による公民館 9 館の設置は、県内においても多い設置数である。

### 平成 23 年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項
⑤ 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	みずえ教室、手造り人形教室、絵手紙教室 3 講座で 36 回、711 人の利用があった。	広報強化等周知徹底し、参加者数の増加を図る。講座が固定化しているため、新規講座の開設を検討する。
⑥ 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	459 回、7075 人の利用があった。	社会教育関係団体・ボランティア活動団体等の活動活性化を図るため、公民館利用についての情報発信を強化する。

平成 24 年度

施設名 (愛称名) 下田市立稲生沢公民館

番号 27

## 施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立稲生沢公民館		2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係					
3 所在地	下田市立野 191 番地		4 設置年月	平成 6 年 1 月					
5 総合計画の 位置付け	Ⅱ人が輝くまちづくり		(1) 自ら学ぶ人づくり		生涯学習				
	基本目標		いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。						
	基本目標を実現 するための施策		項目 ・ 公民館講座 ・ 公民館統廃合		内容 ・ 公民館講座の開設 ・ 地域の実情に見合った公民館 の再編を図ります。				
6 設置目的	社会教育法第 20 条の目的を達成するため 第 20 条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
7 設置根拠	下田市立公民館設置管理条例								
8 施設の概要	施設の概要		敷地面積 746.47 m <sup>2</sup> 建物面積 延面積 455.18 m <sup>2</sup> 1F 253.41 m <sup>2</sup> 2F 201.77 m <sup>2</sup> 構造 鉄骨造 2 階建 1F 事務室・大会議室・管理人室・湯沸室・トイレ 2F 小会議室・和室・図書コーナー・調理室・湯沸室・トイレ						
	実施事業 の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公民館講座の実施</li> <li>・ 地域文化祭等の催事会場提供</li> <li>・ 地域住民の学習、文化活動の会場提供</li> <li>・ その他「社会教育法第 22 条 (公民館の事業)」に基づくもの</li> </ul>						
料金体系	料金区分	会議室等使用料 大会議室・小会議室・和室・調理室							
		主な料金	名称	使用単位	午前 (9:00~12:00)		昼間(13:00~17:00)		夜間(18:00~21:00)
	普通				入場料	普通	入場料	普通	入場料
	多目的ホール 兼大会議室		一回につき	2,000 円	4,000 円	2,000 円	4,000 円	3,000 円	6,000 円
	中会議室			1,000 円	2,000 円	1,000 円	2,000 円	2,000 円	4,000 円
	小会議室			1,000 円	2,000 円	1,000 円	2,000 円	2,000 円	4,000 円
和室	1,000 円	2,000 円		1,000 円	2,000 円	2,000 円	4,000 円		
調理室	2,000 円	-	2,000 円	-	3,000 円	-			
減免内容	(使用料の免除) <b>第 10 条</b> 市長は、特に必要があると認めるときは、別表に定める使用料を減免することができる。 (1) 市の主催で使用するとき、又は国の機関若しくは地方公共団体が市と共催で使用するとき。(全額) (2) 公共的団体の主催で法第 20 条の目的に基づき住民のために使用するとき、又は市内の保育所、幼稚園若しくは小・中学校の主催で、園児、児童、若しくは生徒の教育のために使用するとき。(全額) (3) 公立小・中学校(市内の公立小・中学校を除く。)若しくは公立高等学校の主催で、その目的が教育のために使用するとき、又は委員会が認めた社会教育関係団体の主催で、その目的が当該団体の設立目的のために使用するとき。(5 割減額) (4) 国の機関又は地方公共団体の主催で、その目的が公共のために使用するとき。(3 割減額) (5) 全各号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。(3 割減額)								
	利用料金制度	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無							
施設運営	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営								

平成 24 年度

施設名 (愛称名) 下田市立稲生沢公民館

番号 27

	方 法	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →	指定管理者				
		<input type="checkbox"/> 一部委託 →	委託内容				
	直接従事職員	下田市職員数 館長 1名 (生涯学習課長兼任) 常駐管理人 1名					
9 市内の類似施設	下田市所有	他 8 公民館 (社会教育法の規定による施設)					
	民間所有	地区集会所等 (自治会管理の地域コミュニティ施設)					
10 取得費等の情報 (単位: 円)	取得費及び財源内訳		平成 23 年度末残高		(備考)  減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価格 1 円 ・ 新築翌年度から償却 ・ 耐用年数 38 年 ・ 建物経過年数 18 年		
	土地取得費		土地残高				
	建物取得費	149,178 千円	建物減価償却後残高	76,677 千円			
	財源内訳		減価償却費 = 取得価格 * 償却率 = 4,027,806				
	国・県支出金	25,000 千円					
	市債	85,000 千円	市債残高	13,467 千円			
	一般財源						
	寄附金等						
	物品(*万円以上)		物品減価償却後残高				
11 年間経費等推移 (単位: 円)	区 分		H21 年度決算	H22 年度決算	H23 年度決算	H24 年度予算 (9 公民館)	
	収入		684,000	648,500	473,880	1,921,000	
	収入合計		684,000	648,500	473,880	1,877,000	
	支出	1 節 報酬	216,000	218,546	217,818	1,328,000	
		7 節 賃金	424,700	424,700	424,700	1,699,000	
		8 節 報償費	75,000	75,000	75,000	334,000	
		9 節 旅費	7,546	10,164	3,536	60,000	
		11 節 需用費	851,910	1,011,711	901,239	6,533,000	
		消耗品費	11,724	58,315	16,344	398,000	
		印刷製本費	0	0	0	10,000	
		光熱水費	782,488	798,247	717,945	5,058,000	
		下水道費	0	0	0	150,000	
		燃料費	0	1,061	0	33,000	
		修繕料	57,698	154,088	166,950	884,000	
		12 節 役務費	104,911	108,541	80,830	952,000	
		13 節 委託料	82,877	70,735	74,366	839,000	
		14 節 使用料	32,235	32,408	32,454	200,000	
	19 節 負担金	13,558	16,038	14,011	74,000		
	支出合計		1,808,737	1,967,843	1,823,954	12,019,000	
	減価償却費		4,027,806	4,027,806	3,925,737	11,649,200	
市債利子		1,298,693	1,046,579	783,508	0		
職員人件費		166,524	172,914	147,182	1,352,772		
下田市負担年間総経費		5,319,067	5,417,994	6,206,496	23,099,972		
備考	○ 人件費は、1 公民館を 1/20 人工として、職員人件費平均から算出したもの ○ 事務に係る市職人件費 = (職員人件費 ÷ 職員数) × 1/20 人工 × 公民館数						
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H21 年度決算	H22 年度決算	H23 年度決算	H24 年度予算	
		利用者数	市内	5,050 人	6,302 人	7,075 人	人
			市外			人	人



平成 24 年度
----------

施設名 (愛称名)	下田市立稲生沢公民館
-----------	------------

番号	27
----	----

		合 計	5,050 人	6,302 人	7,075 人	人
		参考：利用単位 当たり市負担額	1053.28 円/人	859.73 円/人	877.24 円/人	円/人
		算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数				
	休館日	祝日、12/28 から 1/3 まで				
使用 時間	午前 9 時から午後 9 時まで					

(参考資料)